

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	檜原保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成 30 年 1 月 30 日

総 評	<p>檜原保育園は、昭和49年に地元住民の保育園建設運動の努力により公設民営として60名定員で開設されました。平成17年に社会福祉法人檜原福祉会として認可された後も、地域の方々による役員構成を背景に、地域住民と園が協力しながら地域に根差した施設として今日に至っています。</p> <p>「保育園で育つ」をモットーに、一人一人の子どもと保護者に丁寧に関わることを心がけています。乳幼児の成長著しい時期に保護者の方と一緒に子育てできることを大切に思っています。</p> <p>平成29年4月に60名定員から30名増の90名定員にする為に、隣接する民家を購入する際には、近隣住民の理解のもと進める事が出来ています。一方で、地域の高齢者の方が毎月集えるようサロンとしてのスペースを提供するなど、相互に良い関係が築けるよう協力・連携しています。</p> <p>園長は、新規採用職員から檜原保育園で働く保育士であり、今まで培ってきた保育内容と共に園と地域との繋がりも継続性を持って取り組んでいます。職員はベテランから若手に至るまで、管理者と職員間のコミュニケーションを大切にしながら、子どもたちが過ごす園の場が充実した環境となるよう努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 「安心して働くことのできる保育園として」を作成し、ICT化による業務省力化の推進、有給休暇以外にアニバーサリー休暇として特別有給日を設けたり、様々な取組を明文化し職員に表明しています。年1回の管理者との職員面談では面談シートをもとに、意向や就労状況について話し合っています。職員の平均勤続年数が18年を超えている事からも、働きやすい環境の整備に努めている事が伺えます。 子どもが主体的に遊べるよう発達に応じたブロック、ままごと、編み物、カード、パズルなどを揃え、朝の登園時などは自由に遊べるようにしています。園舎内には、発表会で制作した造形物などが置かれ、子どもたちの目線に立った保育環境となるよう努めています。 食育計画に沿ってクッキング保育を実施しています。クッキーやうどんなどを練るところから作ったり、味噌作りなどにも取り組んでいます。お泊り保育では、調理体験にも力を入れており、食に対して興味を持てるようにしています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 保育の理念、基本方針、目標について明文化されていますが、ホームページやパンフレットなどによって表現が少し異なります。今後は、表現を統一すると良いでしょう。 感染症対応マニュアルを医師会や京都市保育園連盟の資料を参照し整備されると良いでしょう。 虐待等の疑いがあれば、対応出来るよう仕組みを整備しています。今後は、その内容について職員間で共通理解が持てるようマニュアル等を整備されるとより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

【様式 9-2】

【保育所版】 評価結果対比シート

(注) 判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	檜原保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成30年 1月30日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項目番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	b
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a
			②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	a
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
			②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
			②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	a
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	a
			②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	a

[自由記述欄]

・保育の理念、基本方針、目標について明文化されていますが、ホームページやパンフレットなどによって表現が少し異なります。今後は、表現を統一するとより良いでしょう。

・毎月一回開催の西京区の園長会や西京区役所のはぐみ室から定期的に情報を得ています。また、園長は毎日のキャッシュフローを計算ソフトを使って確認し、経営状況の把握に努めています。地域の福祉ニーズや日々の財務面等の把握により確認できた経営課題に対する取り組みは、全職員と話し合い、予算の必要な事業については理事会・評議員会で諮り実施しています。

・法人の中・長期計画、単年度の計画が策定されています。今後は、中・長期計画の裏付けとなる収支計画を策定されると良いでしょう。その実施状況の評価・見直しについては、年度終わりに一年間を全職員で振り返る総括会議を実施し、保護者アンケートの結果なども参考に組織的に行っています。また、その内容はファイルに綴じ、保護者がいつでも閲覧できるようにしています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	a
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	a
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	18		② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	a
	19		③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	a
	II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
22			② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
		II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b
	27		② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

・施設長は、新規採用時から椋原保育園で保育士として務めており、職員間の推薦を持って理事会・評議員会で選任されています。キャリアパス制度の仕組みの中でも、その役割と責任が明記されています。遵守すべき法令等について把握し、法令遵守規程を周知させると共に、日々の行政からの法令や連絡事項については回覧を実施し周知に努めています。

・管理者は、月1回の全体職員会議、危機管理委員会、随時開催の行事や年齢ごとの代表者会議、リーダー保育士会議に出席し保育内容が園の方針に沿った内容となるよう努めています。今年度から、業務省力化を目的としてICT化を進めています。

・「安心して働くことのできる保育園として」を作成し、ICT化による業務省力化の推進、有給休暇以外にアニバーサリー休暇として特別有給日を設けたり、様々な取り組みを明文化し職員に表明しています。年1回の管理者との職員面談では面談シートをもとに、意向や就労状況について話し合っています。職員の平均勤続年数が18年を超えている事からも、働きやすい環境の整備に努めている事が伺えます。

・キャリアパスに基づき階層別人材育成計画を作成しており、年度始めに各職員がたてた目標や面談で話し合った個別の研修計画と併せて研修に参加しています。

・実習生の受け入れマニュアルを整備し、実習を受け入れています。ボランティアの受け入れは、学生による体験学習の受け入れなどを行っていますが、今後は、ボランティア受け入れに関する内容を明文化し、マニュアル等の手順を作成して一般のボランティア受け入れに関する体制を整備すると良いでしょう。運営内容や財務内容に関しては、ホームページで公開しています。今後は、事業や財務に関する内容について、外部監査などを活用し定期的にチェックや指導を受けるとより良いでしょう。

・地域の健やか健康サロンの為のスペースがあり、毎月1回サロンを開催したり、年2回地域の高齢者との交流と共に近隣のグループホームへの訪問を行っています。年4回園で移動動物園を実施し地域の子どもも参加出来るよう周知したり、保育園のお祭りの際には、地域の方々にチラシを配布し参加してもらうなど地域交流を図っています。また、「椋原学区子育て支援連絡会」に参加し、地域のネットワーク作りにも参画し、民生児童委員などとも連携して、災害時における役割についても確認しています。今後は、それらの活動の中で把握した福祉ニーズにもとづく事業活動を計画等で明示されるとより良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a	
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	b	
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	a	
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	a	
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b	
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a	
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b	
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	b	
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
			41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	a	
		43	② 定期的な指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	b	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	b	

[自由記述欄]

・個人情報保護規程、個人情報取り扱いマニュアルを作成し、利用者のプライバシーに配慮した職員教育が行われています。今後は、今実施している虐待防止等の手順をマニュアル等文書化し、職員間で共通理解のもと対応出来るようにすると良いでしょう。

・入園希望者の為に自園の情報や保育方針などを掲載したリーフレットを作成しており、子育て支援ネットワークの事業時などで配布しています。園見学は随時受け付けており、園の内容を説明し案内しています。今後は、園紹介のリーフレットを公共施設や園見学時に配布されるとより良いでしょう。

・園児の転園の際に保育の継続性に配慮した手順などを定めた文書を定めると良いでしょう。苦情解決の体制を整備すると共に、行事ごとに保護者アンケートを実施し、内容や対応方法についてまとめて全保護者に報告書としてフィードバックするようにしています。保護者からの要望や苦情に対する記録も整備し、職員会議で情報を共有しています。今後は、相談や意見を受けた際の記録や方法などの手順・対応方法についてマニュアルを整備するとより良いでしょう。

・感染症対策について管理体制が整備されています。今後は、感染症対応マニュアルを医師会や京都市保育園連盟の資料を参照し整備されると良いでしょう。災害時の対応体制や避難訓練を定期的実施しています。今後は、水防法で定められた防災避難計画を整備されるとより良いでしょう。

・指導計画は年間、月間、週日案と細やかに作成しています。保育管理システムを導入し、各クラスにタブレットを配布し職員間で情報共有出来るよう取り組んでいます。評価・見直しについては、管理者から口頭による指摘はありますが、システム導入直後であり評価・見直しの記録が確認出来ませんでした。今後は、それらを整備されるとなお良いでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-1 (1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	a
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	b
	AA-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a
		51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a
		A-1-1 (3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b
	58		② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	a
	59		③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	a
	A-1-1 (4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
61		② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	a	

【自由記述欄】

・園舎内外は清潔に保たれており、採光、通風も良く適切に維持・管理に努めています。0～2歳児は、各保育室に畳のスペースが確保されており、家庭的な雰囲気の中で遊んだり着たりできるような配慮をしています。1・2歳児は隣接している民家を建て直した新園舎で過ごし、可動式間仕切りによって保育内容に応じて活用したり、専用のランチルームで給食を食べています。また、日々の保育内容は掲示板に保育の様子として掲示されています。

・子どもが主体的に遊べるよう発達に応じたブロック、ままごと、編み物、カード、パズルなどを揃え、朝の登園時などは自由に遊べるようにしています。園舎内には、発表会で制作した造形物などが置かれ、子どもたちの目線に立った保育環境となるよう努めています。年長児は年1回、嵐山まで8キロある散歩を実施していますが、普段の園外保育はあまり取り入れられていません。今後は、自然との関わりが持てるよう配慮されるとより良いでしょう。

・卒園児の保護者から、小学校に入ってから必要な物や心構えなどをまとめた「1年生に向けて」を、年長児に配布しています。子どもの健康管理を適切に実施し、午睡時のSIDSチェックも実施したり、保健便りも毎月発行しています。今後は、保健便りや懇談等でSIDSについての情報を発信されるとより良いでしょう。

・食育計画に沿ってクッキング保育を実施しています。クッキーやうどんなどを練るところから作ったり、味噌作りなどにも取り組んでいます。お泊り保育では、調理体験にも力を入れており、食に対して興味を持てるようにしています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

・年1回、保護者には個人懇談か保育参加のどちらかに必ず参加してもらうようにし、園の方針や保育内容について共通の理解が持てるよう配慮すると共に、子どもの様子についても話し合っています。今後は、相談内容を適切に記録するために、記録の方法など手順を定めるとより良いでしょう。

・虐待等の疑いがあれば、対応出来るよう仕組みを整備しています。今後は、その内容について職員間で共通理解が持てるようマニュアル等を整備されるとより良いでしょう。

・職員は一年間の振り返りを総括として実施しています。今後は、職員個人の自己評価を定期的実施し、改善や専門性の向上に繋がるよう工夫されるとより良いでしょう。